

平成29年度 藤沢西高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を防止する。	(1) 不祥事に関わる新聞記事等の掲示が職員の自覚と認識を高め、職員間のコミュニケーションをとおして、不祥事防止に対する意識を高めることができた。 (2) 年度初めに「懲戒処分の指針」「神奈川県職員行動指針」を配付し、啓発資料で繰り返し周知することができた。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を高め、わいせつ・セクハラ行為を根絶する。	(1) 「神奈川県教育委員会の職場におけるセクシュアルハラスメントの防止に関する指針」を利用し、共有・意識の徹底を図り、セクハラ行為が根絶できた。また、外部講師によるLGBTについての研修により人権意識を高めることができた。 (2) 啓発資料等を活用した研修で、グループ討議を通して職員一人ひとりが主体的に考え、行動するための取組を実施できた。
③ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を保障し、体罰や不適切な指導を防止する。	(1) 部活動顧問会議等において「体罰防止ガイドライン」や啓発資料を利用し、部活動における体罰の防止を徹底した。 (2) 校内相談窓口について配布物や掲示により生徒へ周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを進めることができた。
④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書、推薦書等の発行におけるミス根絶する。	(1) 要項・マニュアル及び執務のしおりに沿って厳正確実な業務遂行に努めた。 (2) 文書・データ等の事務処理及び管理は、常に複数の職員で確認・点検を確実に行った。 (3) 通知表、調査書、推薦書の作成・取扱いについては、進路・キャリアGと教務・カリキュラムGで連携して行い、点検については、学年、グループにより組織的かつ徹底的に行った。
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防止する。	(1) 個人情報の校外持ち出しは極力控え、持ち出す際は、管理職に許可願の提出を徹底した。 (2) 校務用USBの使用ルールを周知し、再確認したうえで活用した。 (3) 個人情報の廃棄についてもルールを整え、慎重を期すよう呼びかけた。 (4) 個人情報の保管と持ち出しについて、鍵のかかるロッカーと鍵のかかるカバンを整備した。
6 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守や交通マナーの向上により、無事故・無違反を目指す。	(1) 啓発資料等を利用して、繰り返し交通事故防止、安全運転を職員に呼びかけた。 (2) 飲酒運転については、深酒を避けるとともに、飲酒の予定がある日の前には、自家用車での通勤は控えるよう職員に周知した。

7 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員の勤務実態の改善に向け取り組む。	(1) 衛生委員会を毎月1回開催し、執務環境の向上を図るとともに、産業医の導入により職員の健康意識の向上につながった。 (2) 情報の共有化を図り、風通しの良い職場づくりを進めた。
8 会計事務等の適正執行	公費及び私費の会計事務をルールに沿って厳正に行う。	(1) 財務事務調査指導における指摘事項を基に、マニュアルを整備し、会計担当者を対象とした研修会を年度初めに実施した。 (2) 事故防止会議にて研修を行い、グループ、会計担当による、会計伝票等の処理、点検を厳格に行った。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

上記の各項目について、月1回の事故防止会議および職員打合せにおいて、研修、伝達を行い、おおむね目標を達成することができた。

特に、全職員を対象として、①「神奈川県職員行動指針ハンドブック」による服務規程、②わいせつ・セクハラ行為の防止、③外部講師による人権の尊重に関する研修を実施し、事故・不祥事防止に対する意識を高めることができた。

職員を対象とした管理職による個別面談、職場内の巡視・職員への声かけ、ベテラン職員のリーダーシップを生かした、職場全体での、教員経験の浅い職員へのフォロー体制作りなど、風通しのよい職場づくりと、職場の連帯感を高める取組を進めた。

職員一人ひとりが主体的に考え、行動するための取組として、職員が講師を務める研修の実施、事故防止のための標語等の募集を実施した。

また、本プログラムの作成に当たっては、学校運営協議会委員からの意見聴取を行うことを試みたが、今年度は時期的に、意見を十分に参考にすることができなかった。

最終検証では、3月に日常点検票「ふじにし日常点検」を利用し、各自が目標達成について自己評価を行った。

平成30年度藤沢西高等学校不祥事ゼロプログラムの策定においては、今年度の取組を継続することを基本とする。さらに取り組むべき課題として、上記①～④に加えて、5「個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）」に重点を置くこととする。また、学校運営協議会からの意見聴取を踏まえて策定していくこととする。